

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
高崎ビューティモード専門学校	平成13年3月29日	高橋 紀幸	〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 (電話) 027-310-2220
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人 中央総合学園	平成3年12月9日	理事長 中島慎太郎	〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 (電話) 027-324-8511
分野	認定課程名	認定学科名	専門士 高度専門士
衛生	美容専門課程	国際ビューティ学科	平成23年文部科学大臣告示第166号
学科の目的	メイク・ネイル・エステ・ヘアデザイン・ヨガなどのトータルビューティ技術を学び、各種資格検定取得を目指し、社会に出て即戦力となる人材を育成する		
認定年月日	平成26年3月31日		
修業年限	昼夜	講義	演習
2年	1860時間	600	—
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数
80人	53人	0人	3人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末における筆記試験を実施すると共に授業出席率、受講態度及び課題提出物等を総合的に判断し評価する。
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月23日～8月20日 ■冬季:12月16日～1月6日 ■学年末:3月31日	卒業・進級条件	■文部科学省に基づいた年間換算履修規定時間を満たした者 ■必修科目試験合格者(S～C評価) ■指定の検定いつれかを取得している者 ■就職内定をしている者
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個人面談、三者面談	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ■学園祭 ヘアメイキングショー ■ボランティア活動 ■スポーツ大会 ■各種体験学習 ■就職講演会 ■サークル活動: 有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 日本ロレアル 不二ビューティー TBC コーサー アルビオン ドラッグストア ネイルサロン 美容サロン ■就職指導内容 個人面談、三者面談 ■卒業者数: 15 人 ■就職希望者数: 15 人 ■就職者数: 15 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 100 % ■その他 ・進学者数: (平成 30年度卒業生に関する令和1年5月1日時点の情報)	主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成30年4月1日時点において、在学者31名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者29名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 進路変更 学校生活への不適合 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 早期カウンセリング 二者・三者面談	■中途退率 6%	
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)		
当該学科のホームページURL	URL: http://www.chuo.ac.jp/tbm/		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職」とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業との連携を通じ、社会のニーズに合った情報(収集・把握・分析)を基に実践的な職業教育を実施することを目的として教育課程編成委員会を設置する。

教育課程編成委員会は下記の事項を審議し新規の授業や改善等にかす。

1. サロン・企業が学生に求める事(技術・人間性・マナーなど)これから社会で求められるもの・サロン等の現状
2. カリキュラムの提案(より実践的な授業内容や評価方法など)
3. 就職ガイダンス等の時期
4. 学校・サロン連携研修について

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程のカリキュラム編成、実施内容及び改善に関する事項について、関連分野の企業関係者・団体等との連携を高め業界の実情をヒアリングするため高崎ビューティモード専門学校では教育課程編成委員会を設置している。委員会は教務委員会の策定したカリキュラム・内容・ガイダンス等について改善等のアドバイスを行うことになっている。

企業・団体等の外部委員による意見を有効活用するため、副校長・教務部長・教務課長・各課教員も参加し委員会を構成している。

教育課程編成委員会の意見やアドバイスは教務委員会において検討され、次年度以降の各課カリキュラムや授業内容の改善に反映させていくことになる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月30日現在

名前	所属	任期	種別
須藤 和廣	NPO法人日本健康美容協会理事長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
北澤 俊春	株式会社TBM美容研究所	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
近藤 歩	ネイル&アイラッシュ	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
高橋 紀幸	高崎ビューティモード専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
倉賀野 正彦	高崎ビューティモード専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
森村 健	高崎ビューティモード専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
原崎 房代	高崎ビューティモード専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回(7月・3月)

(開催日時)

第1回 令和元年8月6日 14:00～15:00

第2回 令和2年3月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

次年度以降のカリキュラム編成や新規科目、授業計画の見直し材料とし、より専門的かつ実践的な授業の展開と社会のニーズに沿った教育の提供に努めるとともに情報収集の機会とする。

- ・学生の基礎学力が不足しているとの意見を頂戴し、授業内容にリメディアル向上の時間を取った
- ・今後の超高齢化社会への対応として、福祉美容への取り組みを検討材料として考えていく

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場経験者の体験を基に具体的・実践的にわかりやすく教授してもらい、今後の各種勉強と関連性を意識し、就活のマナー・心構えを学び、サロン就業のモチベーションをアップする事で、就職先選定のベースを確立する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

美容業界の中で即戦力として自己の力を発揮できるよう、「サロンマナー」などのコミュニケーション能力の向上から、「トータルビューティ技術」などの基礎技術の向上、そして「流行のサロンワーク」及び「顧客のニーズ」に合った内容やクリエイティブな要素も盛り込み連携実践し、学修成果の評価を受けている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
職業実践	社会のニーズに対応した、実践の美容技術や知識を学ぶ。具体的には ・エステティシャン、メイクアップアーティスト、ネイルリストとしての自覚とマナー・接客技術等を学び、職場での即戦力としての経験値を高める。 ・ヘアスタイルの基本やアレンジスタイルを学び、職場での即戦力としての経験値を高める。	株式会社不二ビューティ 高島屋 ネイル & アイラッシュRAVI 美容室アース

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教育方針である「実学重点主義」を基に研修規定を定め、「技術・理論」及び「社会マナー」・「コミュニケーション」など現場に即した内容を継続的かつ改善・工夫をし実施している。また「学生指導方法」についても時代の変化とともに手法等が変化している為、定期的に研修を重ねている。企業等と連携することで、より社会の変化や課題に素早く対応でき教育現場に反映できる。それが業界の求める「人材育成」に繋がると考える。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成30年8月17日(土) JMA日本メイクアップ技術検定協会 認定講師研修

対象:教員1名

メイクに関する新しい検定導入の知識・技術について、一般社団法人JMAの本部認定講師による研修会が開催された。当学科で指導しているメイク講師に直接的にかかわる内容であり、専門分野における指導力の向上を図った。また、学内研修会において、当研修参加者より研修内容の共有を図った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年8月 「一般社団法人全国専門学校情報教育協会 教職員研修」

対象:教員1名

「アクティブラーニング・産学連携教育におけるPM入門」平成29年12月 「教職員研修」

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

令和元年8月 メイク技術研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

令和元年12月 教職員全体研修

令和2年3月 群馬県専門学校各種学校教育連合会 教職員研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動について自己点検及び自己評価を実施し、それに基づく「学校関係者評価」を実施
学校での重点目標である設定項目について、取り組みが適切なものか改善等がないかを評価して頂きフィードバックする。そのPDCAサイクルを回すことで教育の質の向上に貢献すると考える。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<p>【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)</p> <p>【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)</p> <p>【学内】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。</p> <p>【学外】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、公表されているか。(提示を公表へ修正)</p>
(2)学校運営	<p>組織機能図があるか。</p> <p>学校の年間スケジュールはあるか。</p> <p>図書室・図書コーナー等があるか。</p> <p>学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。</p> <p>就職支援を行う指定された場所があるか。</p> <p>分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。</p> <p>環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。</p> <p>学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。</p> <p>学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。</p> <p>学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。</p> <p>学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。</p> <p>防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。</p> <p>学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。</p>
(3)教育活動	<p>育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか</p> <p>カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)</p> <p>シラバスあるいは講義要項などが作成されているか</p> <p>各教員からカリキュラム・シラバスが提出され取りまとめられているか</p> <p>シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか</p> <p>学生によるアンケートなどによる授業評価が定期的に行われているか</p> <p>結果に基づく教員面接を実施しているか</p> <p>企業・施設等での職場実習があるか</p> <p>専門性や指導力などの維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか</p> <p>非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか</p>
(4)学修成果	<p>学生の就職に関する目標を設定したか。</p> <p>学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されていたか。</p> <p>学生の就職活動に関する記録がなされているか。</p> <p>学生の就職結果に関して、検証・報告がされたか。</p> <p>対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット、HP)。</p> <p>学生母の記録簿が作成され、個々に対する能力(評価・成績)に対して目標を都度設定しているか。</p> <p>評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。</p> <p>評価表・成績表など客観的判断のできる記録がなされているか。</p> <p>評価・成績に関して検証・報告がされているか。</p> <p>資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。</p> <p>資格・検定・コンペに対する目標・計画が教職員に共有されているか。</p> <p>資格・検定・コンペの結果に関して検証・報告がされたか。</p> <p>資格・検定・コンペの結果を公表しているか。</p> <p>卒業率の目標を設定しているか。</p> <p>卒業率に関する目標・計画が教職員に共有されているか。</p>
(5)学生支援	<p>学校案内等には育成人材像が明示されているか。</p> <p>学校案内等には目指す資格・検定・コンペ等が明示されているか。</p> <p>学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。</p> <p>学校案内等には選抜方法が明示されているか。</p> <p>入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。</p> <p>学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。</p> <p>入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。</p> <p>担任による面談が定期的に行われているか。</p> <p>学生の面談・相談記録があるか。</p> <p>定期的に健康診断を行っているか。</p> <p>奨学金制度等の経済的支援があるか。</p> <p>保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。</p> <p>卒業生への職業紹介をしているか。</p>

(6)教育環境	<p>理事会が定期的に開催されているか。</p> <p>評議員会が定期的に開催されているか。</p> <p>理事会・評議員会の議事録は公開されているか。</p> <p>運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。</p> <p>教職員それぞれの職務分掌が文書化されているか。</p> <p>決裁規程が文書化されているか。</p> <p>人事規程が文書化されているか。</p> <p>防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。</p> <p>防災・防犯対策に対して組織化されているか。</p> <p>定期的に防災訓練を実施しているか。</p> <p>個人情報保護規程が文書化されているか。</p> <p>ハラスメントに関する規程が文書化されているか。</p> <p>公印管理簿があるか。</p> <p>受信・発信簿があるか。</p> <p>教職員の健康診断がされているか。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)</p> <p>他の高等教育機関との連携講座などを行っているか</p> <p>学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)</p> <p>学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>学生募集活動において、教育成果(資格取得・就職状況等)は正確に伝えられているか</p> <p>学生納付金は妥当なものとなっているか</p>
(8)財務	<p>年度予算、中期計画が策定されているか。</p> <p>予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。</p> <p>会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。</p> <p>会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。</p> <p>私立学校法における財務情報公開の体制整理はできているか。</p> <p>固定資産管理規定が文書化されているか。</p> <p>物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。</p> <p>施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。</p> <p>物品購入等における複数業者からの確認がされているか。</p>
(9)法令等の遵守	<p>自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。</p> <p>自己点検・評価の組織があるか。</p> <p>評価・改善を行うための組織があるか。</p> <p>自己点検・評価の必要性を教職員に伝える機会を設けたか。</p> <p>自己点検・評価の結果を教職員で共有する機会を設けたか。</p> <p>自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか。</p> <p>自己点検・評価の改善計画に基づいた結果の検証がされたか。</p> <p>自己点検・評価報告書があるか。</p> <p>自己点検・評価報告書が公表されているか。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。</p> <p>上記において定期的な会合に参加しているか。</p> <p>教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。</p> <p>社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。</p> <p>地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。</p>
(11)国際交流	<p>留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか</p> <p>留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きなどがとられているか</p> <p>留学生の学習・生活指導などについて学内に適切な体制が整備されているか</p> <p>学修成果が国内外で評価される取組みを行っているか</p>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- 学校関係者委員会は下記の事項を審議し、新規カリキュラムの開設及び授業内容の改善、教育の質の向上にいかす。
1. 教育の内容・実施体制(サロン・企業が学生に求める事(技術・人間性・マナーなど)、学生への修学意欲への動機付け)
 2. 教育目標の達成と教育効果(各種検定合格率・就業率・退学率などの改善)
 3. 学生支援と社会的活動(地域活動・ボランティアの実施・卒業生への就業状況など)

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月30日現在

名前	所属	任期	種別
須藤 和廣	日本健康美容協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業
新井 克志	協同組合イーストジャパン・ヘアモード	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業
須藤 準一	株式会社エレガンス	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業
尾形美夏	高崎ビューティモード専門学校 卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生
追立 美幸	高崎ビューティモード専門学校 保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <http://www.chuo.ac.jp/tbm/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページやパンフレット等の情報提供を基本としている。また学校関係者評価委員会議の中で意見交換をすることで連携を図っている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要【ホームページ】
(2) 各学科等の教育	総合美容師学科紹介・7つの魅力【ホームページ】
(3) 教職員	パンフレット
(4) キャリア教育・実践的職業教育	コラボレーション・職業実践専門課程【ホームページ】
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設案内・ロケーション・自由選択【ホームページ】
(6) 学生の生活支援	学びを支援・各種学費援助システム・学生サポート【ホームページ】
(7) 学生納付金・修学支援	パンフレット・募集要項【ホームページ】
(8) 学校の財務	公開情報 学園の財務状況【ホームページ】
(9) 学校評価	公開情報 学校関係者評価報告書【ホームページ】
(10) 国際連携の状況	短期留学【ホームページ】
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.chuo.ac.jp/tbm/>

授業科目等の概要

(美容専門課程国際ビューティ学科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	講義	演習	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							校内	校外	専任	兼任			
○			ヘアー	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。ヘアードザインは髪質を把握し、ケアの基本とテクニック、及びイメージデザインを学び、舞台、ファッション界、ブライダル、一般分野に至るまで、個性あるヘアコーディネーターとして活躍できる人材を育成する。	1通・2通	##	4	○	○	○	○				
○			ネイル	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、ネイルアーティストとしての定義と分類スカルプチャから実習をしていく。	1通	##	8	○	○	○	○				
○			エステ	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、基礎養護、正しい知識と理論の習得と実習を組合せ、適格なカウンセリングと接客マナー及び技術を学ぶ。	1通	##	8	○	○	○	○				
○			メイク	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。メイクは皮膚学、メイクアップ技術実習、正しいスキンケア、1つの確立された理論背景に基づき、独自の技術とイメージにて美を作り上げる。	1通	##	8	○	○	○	○				
○			ヨガ	心と身体のバランスを整えるヨガの知識を身につける。身体の不調や疾患を学び、機能改善へのアプローチおよび指導法を実践を通じて習得する。	1通	60	2	○	○	○	○				
○			コース別ネイル	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、ネイルアーティストとしての定義と分類スカルプチャから実習をしていく。	2後	60	2	○	○	○	○				
○			コース別エステ	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、基礎養護、正しい知識と理論の習得と実習を組合せ、適格なカウンセリングと接客マナー及び技術を学ぶ。	2後	60	2	○	○	○	○				
○			コース別メイク	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。メイクは皮膚学、メイクアップ技術実習、正しいスキンケア、1つの確立された理論背景に基づき、独自の技術とイメージにて美を作り上げる。	2後	60	2	○	○	○	○				
○			コース別ブライダル	ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々な分野を学習することにより、ブライダルシーンを創造する能力を身につける。授業は、ブライダルエステ・メイク・ネイルをトータルで学び、実践で役立つ技術を幅広く習得する。ブライダルへの興味を深くし、業界のニーズに応えられるプロを目指す。	2後	60	2	○	○	○	○				
○			コース別インナービューティ	リハビリに基づいて「つくられたピラティスの知識を身につける。インナーマッスルを鍛え、メリハリのある身体をつくり、姿勢の改善、怪我の予防にも期待のできるエクササイズを学ぶ。ピラティスによる機能改善へのアプローチと効果的な指導法を実践を通じて習得する。	2後	60	2	○	○	○	○				
○			サロン実践	プロのネイルアーティストとして正しいカウンセリングをし、様々な爪や皮膚に合わせた適格なアドバイスを行える知識や実践的なサロンマナーを学ぶ。	2前	60	2	○	○	○	○				
○			皮膚科学	皮膚に塗布される化粧品を把握し、皮膚の構造及び機能を理解する。化粧品トラブル対処をカウンセリングできるように学ぶ。オリジナルテキストを用い、化粧品化学を中心に専門知識を学ぶ。問題定義する事により化粧品知識を高める	2前	30	1	○		○	○				
○			人体化学	人類すべて恒常性（ホメオスタシス）の影響によって、バランスを保っている。健康を維持し、生活バランスを保つために、環境衛生は大切な私たちの一部になっている。衛生の重要性、健康を保つ為の栄養バランスなどの知識を習得していく。	2後	30	1	○		○	○				
○			栄養・化粧品学	栄養学は合理的に食物から適正な栄養素を適正量とるかという実践的な学問である。接客の際、食生活から美肌やボディラインづくりをするというアドバイスができるような知識を身につけていく。	1通・2通	##	4	○		○	○				

○		ブライダル	ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々な分野を学習することにより、ブライダルシーンを創造する能力を身につける。授業は、用語解説・検定対策問題を解きながら、同時にブライダルコーディネーターの基礎的な事柄を習得する。	1 通	60	2	○		○	○								
○		化粧品学	皮膚の構造・肌のしくみを知ることで、あらゆる肌悩みにに対し、最適な化粧品を選び出せるプロフェッショナルな人材を育成する。化粧品の成分を読み解き、特徴を理解することで化粧品のすばらしさをより一層実感できるようにする。	1 通	60	2	○		○	○								
○		美容カウンセリング学	接客の際お客様の心理を探り要望に応じていけるような知識を学習し、また顧客をつけていくことができるようにさせる。	2 通	60	2	○		○	○								
○		敬語マナー 社会常識	社会人として必要な基本的マナーを習得するためにサロンでの身だしなみ・言葉遣い・電話対応の仕方・接客・カウンセリングなど、実務に即した内容を、実際にロールプレイングして教科書を基に学ぶ	1 通	60	2	○		○	○								
○		英会話	英会話は情報の伝達手段としての、コンピュータによるインターネットでも幅広く使われ、多くの場面で国際的なコミュニケーションが必要になってきます。美容業に携わる人の活躍する場所が日日本ばかりではなく海外へとステージが広がり、幅広く対応できる外国語を習得する。	1 前	30	1	○		○	○								
○		WORD EXCEL 実習	今日職場においての文書処理や金銭管理などは、PCを使うようになってきている。最も普及しているMicrosoft WordとExcelの基本操作を修得する。	1 後	30	1	○		○	○								
○		美容マネジメント	美容会計は、サロンの営業活動を記録、計算、整理する技術であり、サロンの経営成績、財政状態を明らかに報告するものである。講義内容は、サロンを前提としたお金の流れを基に仕訳、勘定記入を通じて一巡の流れを学習する。	1 後	30	1	○		○	○								
○		選択実習	各種発表の場を設け、エステ・メイク・ネイル・ヘアスタイル・着付けの技術を総合的に駆使しながら、様々な手法で自己表現する技術を学ぶ（作品製作・発表、ヘア&メイクショー公演など）	1 前・ 2 前	##	4	○		○	○								
	○	選択授業 色彩	私達日常の生活の中で色彩は重要な役割、または、係わりをもっている。色彩を感じ、好き嫌いだけでなく、様々な場所で知らず知らずのうちに理論を体験学習している色の基礎的な体系理論を理解することによって、色彩知識が身につく講義内容は、色の分類・配色基本・効果・カラーカードを使つての授業を行う	1 前・ 2 前	30	1	○		○	○								
	○	選択授業 アシスタント ウェディングプランナー	ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々なノウハウを学習することにより、ブライダルシーンを創造する能力を身につける	1 後・ 2 後	30	1	○		○	○								
	○	選択授業 デッサン	平面を描き、立体のバランスをイメージする。デッサンでは、髪の毛の流れを描く。顔の部分（プロポーション）を把握しフェイスライン・パーツ・ヘアスタイル画を学び、鉛筆・色を使用しグレイスケールを用いて明暗法を練習する。	1 前・ 2 前	30	1	○		○	○								
	○	選択授業 着付け	日本の民族衣装である着物。着付けを通して日本文化や時代背景を学び日本の伝統芸能（能・狂言・歌舞伎）である着物文化を取り入れ、着物の種類及びTPOに合わせた着物選びや帯結びを学習します。校外学習として、日本文化の鑑賞を行ないます。	1 通・ 2 通	##	4	○		○	○								
	○	選択授業 ヘアデザイン	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出すヘアデザインは髪質を把握し、ケアの基本とテクニック、及びイメージデッサンを学び、舞台、ファッション界、ブライダル、一般分野に至るまで、個性あるヘアコーディネーターとして活躍できる人材を育成する	1 前・ 2 前	30	1	○		○	○								
	○	選択授業 ネイル実習 (基礎)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、ネイルアーティストとしての定義と分類スカルプチュアから実習をしていく。	1 前・ 2 前	60	2	○		○	○								
	○	選択授業 エステ実習 (基礎)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、基礎養護、正しい知識と理論の習得と実習を組合せ、適格なカウンセリングと接客マナー及び技術を学ぶ。	1 前・ 2 前	60	2	○		○	○								
	○	選択授業 メイク実習 (基礎)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。メイクは皮膚学、メイクアップ技術実習、正しいスキンケア、1つの確立された理論背景に基づき、独自の技術とイメージにて美を作り上げる。	1 前・ 2 前	60	2	○		○	○								
	○	選択実習 ネイル実習 (応用)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、ネイルアーティストとしての定義と分類スカルプチュアから実習をしていく。	1 後・ 2 後	60	2	○		○	○								
	○	選択授業 エステ実習 (応用)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。この科目は、基礎養護、正しい知識と理論の習得と実習を組合せ、適格なカウンセリングと接客マナー及び技術を学ぶ。	1 後・ 2 後	60	2	○		○	○								

		○	選択授業 メイク実習 (応用)	個性的な美を学び、想像力を養い、感性を育成し、総合的な最高の技術を引き出す。メイクは皮膚学、メイクアップ技術実習、正しいスキンケア、1つの確立された理論背景に基づき、独自の技術とイメージにて美を作り上げる。	1 後・ 2 後	60	2	○	○	○	○		
		○	職業実践	社会のニーズに対応した、実践の美容技術や知識を学ぶ	1 後・ 2 前	30	1	○	○	○			○ ○
合計				科目	1860単位時間(62単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。